

進路だより

鶴見養護学校
地域連携グループ進路係
No.3
令和3年3月11日発行

3月11日(木)に、本校・分教室合わせて41名の生徒が卒業します。入学以来、たくさんの方の事を学び、経験して、大きく・たくましく成長しました。今回は、41名の卒業生の進路先についてお伝えします。それぞれの進路先での活躍を願っています。

1. 本年度卒業生の進路概況(施設等の併用を含む)

3.11 現在

	卒業生数	就職	就労支援施設	地域活動支援センター	生活介護	その他
本校	26	0	9	3	15	1
分教室	15	5	9	0	0	1



今年は新型コロナウイルス感染症のため、5月末まで休校となり、6月以降も分散登校となる等今までにない日々を過ごしました。不安や緊張を抱えながらの現場実習となり、事業所によっては、実習日数や時間短縮を行うなど通常とは違う流れの所もありましたが、何とか無事に前期後期ともに現場実習を終えることができました。企業に関しては、受け入れ自体が少なかったり、働き方がリモートワークに切り替え等があったため、就労移行支援や就労継続支援B型が進路先となるケースが増えました。

2. 卒業生の進路先について

【本校】

◆福祉事業所

区分	進路先		主な作業内容
就労移行支援	川崎市	わーくす大師	箱折り等
就労継続B型	鶴見区	ふれんど	ボールペン組立等受注作業、弁当販売
		麦の家	パン製造・販売
		nanala	雑貨づくり、造花製作等
	都筑区	ちいさな種	リネンたたみ、軽作業、清掃等
	緑区	ふかふか	パン販売、クラフト等
川崎市	FDA川崎事業所	ソーシャルスキルトレーニング等	
生活介護	鶴見区	江ヶ崎生活介護事業所	ボールペン組立、コア組立
		工房金魚	水道メーター解体、ゴムのバリ取り
		わたげ	タオルたたみ、余暇活動等
		ウィッシュ・ウイング	軽作業、創作活動等
	ふれあいクローバー	自主製品づくり、受注作業等	
	港北区	わーくす太尾	段ボールの仕切りづくり、清掃等
		かしの木ホーム	箸セットづくり等
	緑区	カプカプ竹山	創作活動、調理等
川崎市	ひらま	運動、受注作業等	
地域活動支援センター 作業所型	鶴見区	雑貨工房 大地	シュレッダー、ボールペン組立等
		ごぼうハウス	製菓作業等
	港北区	ぱんばかパン	製パン、接客等

【分教室】

◆企業

区分	進路先	主な作業内容
一般企業	ふれあいショップ のげやま	カフェ業務、軽作業
特例子会社	株式会社 日立ゆうあんどあい	庶務補助
	株式会社 すかいらーくレストランツ 藍屋	接客、調理補助
	株式会社 ゼンショービジネスサービス	事務補助
	株式会社 はま寿司	調理補助、店内清掃

◆福祉事業所

就労移行支援	港北区	ウェルビー新横浜駅前センター	パソコン業務・軽作業・SST
	磯子区	ぼこ・あ・ぼこ	軽作業
就労継続B型	南区	ドリーム弘明寺	イラスト制作
	港北区	おからさん	カフェ業務、軽作業
	鶴見区	鶴見ワークトレーニングハウス	軽作業等
	神奈川区	ジョブネット横浜	軽作業
自立訓練	戸塚区	ゆたかカレッジ横浜キャンパス	自立訓練等

進路のつづき ～ 今日まで そして明日から ～

高等部3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。長い学校生活を終え、いよいよ社会生活のスタートですね。

私達は、卒業後の長い人生を見据えて日々の学習に取り組んでいます。「進路先を決める」という狭い意味だけでなく、「豊かに生きてゆく力をつける」ことが進路指導(=キャリア教育)の大きな目標で、全ての学習は「働く」「暮らす」「楽しむ」のどこかに繋がっています。特に高等部では、進路先を決めることも含め、社会生活を強く意識した学習に取り組んでいます。

それでも、卒業生の様子等を通じて感じることは、「学校と社会の差は予想以上に大きい」ということです。社会生活のための準備は十分進めてきたはずなのに、予想できない事態に直面し、困惑したり落ち込んだりする卒業生や保護者の方がたくさんいらっしゃいます。よく考えれば、社会は広すぎて、全てを学校で教え切れるはずはありません。例えば「聞き流す」「妥協する」などは社会で生きていくためにとても大事な力ですが、学校の中では「しっかり聞く」「自分の気持ちを伝える」「最後まで頑張る」等が目標になり、うまく力を抜く、「まあいいか」と妥協することなどはなかなか学習することができないのです。



学校から社会へと活動の場が変わっても変わらないもの、それは、ご家族の支えです。ご家庭で、早くから社会を意識して接していただくこと、学校でできない様々なチャレンジを通じてたくましさをも身につけること、年齢や状況に応じて適切に支援していただくことで、子どもたちは安心して成長し、社会を歩んでいきます。

今日まで、ありがとうございました。そして、また明日から、子どもたちの豊かな人生のために、一緒に支えていきましょう。これからも、よろしく願いします！

